

令和元年度 一般・特別会計決算を認定

一般会計	歳入	120億1,225万円	(9.69%増)
	歳出	116億7,686万円	(9.47%増)
特別会計	歳入	80億3,907万円	(1.73%増)
	歳出	72億4,505万円	(2.13%増)

()内平成30年度比

9月 定例会

令和2年第3回定例会が9月4日から18日までの15日間の会期で行われた。初日(4日)は、令和元年度決算認定10議案について決算特別委員会を設置し、その審査を付託した。また、条例の一部改正や令和2年度一般会計及び特別会計補正予算等8議案については提案理由の説明を受け常任委員会に付託した。他に教育委員会委員1名の任命及び人権擁護委員3名の推薦に同意し、養老町GIGAスクール構想における端末整備事業契約の締結及びOAパソコン購入事業の契約の締結について可決した。2日目(17日)は、7議員が一般質問を行った。最終日(18日)は、令和元年度決算認定について委員長から審査報告を受け、すべて原案のとおり認定した。そのほか、条例の一部改正や令和2年度一般会計及び特別会計の補正予算等8議案についてもすべて原案のとおり可決した。また、議員発議である新型コロナウイルス感染症に関する意見書2件についても、可決した。

9月7日・8日の両日にわたり決算特別委員会を開催し、令和元年度一般会計及び9の特別会計の決算について集中審査を行った。その結果、委員会では全ての決算を認定すべきものと決定した。その中から、会計ごといくつかの質疑を報告する。

決算特別委員会

委員長 長澤 龍夫 副委員長 北倉 義博

一般会計

移住定住促進事業の実績は

答 子育て世帯住宅取得支援事業4件、95万円。二世代同居・近居住宅取得支援補助金23件、620万円。若者定住マイホーム取得支援事業補助金(Uターン)2件、50万円。孫育てサポート補助金1件、4万5000円。

問 所有者不明土地の固定資産税の不納欠損の件数、金額は。

答 公示送達分として、不納欠損は26件、127万3131円。

問 固定資産税の不納欠損のうち、会社が倒産し、破産管財人も解散して、送り先がないものにも課税している。今後の考え方は。

答 税法上は課税するが、課税を保留している市町もあるため、それらを参考に今後検討したい。

問 町税のクレジット収納の利用率(納付金額は)。

答 町県民税118件(0.86%)、292万7900円。固定資産税356件(0.7%)、609万5100円。軽自動車税133件(1.0%)、95万5100円。

問 現在の個人番号カードの交付枚数と交付率は。

答 令和2年8月23日現在、交付枚数3655枚、交付率12.79%。

問 養老公園夜桜ライトアップの委託費の内訳と来場者数は。

答 内訳は改良住宅の使用料(現年入)143万9200円、町営住宅使用料(現年分)139万1400円、滞納繰越分が町営住宅と改良住宅を合わせて433万2986円、その他水道料及び使用料29万6802円。



答 30、31年度の2箇年事業(3月30日から4月7日に開催)の事業費2085万1293円のうち、30年度が町921万1293円、県860万円、31年度が町214万円、県90万円であった。また、来場者数は1万8150人。

問 住宅使用料の収入未済額4652万388円の内訳は。

問 差押えの実績は。また、コロナに関する減免等の実績は。

答 差押えの実績は、不動産1件、国税還付金5件、給与1件、年金3件、預貯金6件、生命保険6件の計22件、換価金額193万4735円。コロナに関する減免は、8月末現在、申請4件、許可3件、減免額34万8100円。なお、猶予に関しては、許可17件、188万4900円。

問 差押えの実績は。また、コロナに関する減免等の実績は。

答 差押えの実績は、不動産1件、国税還付金5件、給与1件、年金3件、預貯金6件、生命保険6件の計22件、換価金額193万4735円。コロナに関する減免は、8月末現在、申請4件、許可3件、減免額34万8100円。なお、猶予に関しては、許可17件、188万4900円。

問 起債の償還状況は。

答 令和元年度の元利償還費は約2億970万円。なお、今後雨水処理事業を計画しているため、元利償還の算定が変化すると考えられる。

問 負担金の不納欠損1191万2000円の内訳は。

答 公共ますに賦課する受益者負担金

問 総合事業の受け皿となる事業所の見解は。

答 現在、社会福祉協議会と協議して、移動支援、買い物支援を考えている。

問 地域包括支援センターの認知症対策の実績は。

答 認知症予防教室として、キラリ!脳活教室は12回開催し、男性2名、女性16名が参加、脳活リーダー研修は

問 第7期の介護保険料改定により、当町は県内6番目に高い保険料となっているが、8期に臨む姿勢は。

答 第7期では小規模多機能型居宅介護の建設が予定されていたが、保険料が上昇したが、今年4月から介護医療院が西美濃厚生病院で開所されたので、その給付と合わせてどうなるか検討中である。

問 第7期の介護保険料改定により、当町は県内6番目に高い保険料となっているが、8期に臨む姿勢は。

答 8回開催し、男性3名、女性11名が参加、足・脳いきいき教室は12回開催し、男性3名、女性17名が参加、まるごと介護予防教室は8回開催し、男性1名、女性19名が参加した。

9月7日・8日の両日にわたり決算特別委員会を開催し、令和元年度一般会計及び9の特別会計の決算について集中審査を行った。その結果、委員会では全ての決算を認定すべきものと決定した。その中から、会計ごといくつかの質疑を報告する。

問 固定資産税の不納欠損のうち、会社倒産し、破産管財人も解散して、送り先がないものにも課税している。今後の考え方は。

答 税法上は課税するが、課税を保留している市町もあるため、それらを参考に今後検討したい。

答 8回開催し、男性3名、女性11名が参加、足・脳いきいき教室は12回開催し、男性3名、女性17名が参加、まるごと介護予防教室は8回開催し、男性1名、女性19名が参加した。

